

『本番に強くなる脳みその使い方』をお話します！

受験本番や部活動の大会で  
子どもが自分で自分を整えられるワークを実践練習

かしこい子、  
やさしい子って、  
あるの？

なんでわたしって  
こんなに運が  
悪いんだろう

本番になると  
緊張して  
うまくできない

いろんな  
情報があって  
悩む・・・

関西開催決定！  
運呼哲学×子育て  
感情のうんこを正しく扱うと運を呼ぶ！

言うことを聞かない  
子どもに、なんて  
声かけしたらいいか  
わからない



UNKOTETSUGAKU

1日でいっきに子育てが楽になる

# まほうの子育て講演会

5 / 31 土

11:00~17:00

▶ 京都テルサホール

11:00~ロビーでマルシェを開催♪

yuka Aoki



参加費  
無料

当日は先着 200 名様限定  
プレゼントがあるよ

～運呼哲学～

うんこという名の『負の感情』から望みを見る

＜青木ゆか＞著者・運呼哲学研究者  
「究極の自己理解を使った 望みの総合格闘技」運呼クエストを作った人

まほうの子育て講演会実行委員会

小学校高学年から参加できます！

# 運呼哲学 × 子育て

～運呼哲学・受講者コメント～

## 東京都 Aさん

4歳の次女は外で大騒ぎ。  
いつも次女は実家に預けて留守番させていました。でもこれでいいの？って罪悪感があって。ほんとと一緒に連れて行ってあげたいと思っていました…

After untetsu

運呼哲学子育て編で、次女が落ち着く声かけのコツがわかり、次女も一緒にお出かけに連れて行けるようになりました。

## 福島県 Bさん

5歳娘はクセ毛で、そのことをお友達に馬鹿にされた、と泣いていました。私は子どもが傷つく出来事がとても怖くしょうがありませんでした…

After untetsu

子どもに、「〇ちゃんはその髪がお姫様みたいでうらやましかったんじゃない？」と伝えることができ、その時の娘の明るくなった表情を忘れられません。

## 東京都 Cさん

10歳の娘の学校の担任が厳しく、毎日理不尽に怒られて、登校できなくなりました。私はすごく怒りが沸いて、殴り込みに行くつもりでしたが…

After untetsu

担任を攻撃するのではなく、理不尽な状況に対して親子で対策を練り、乗り越える経験ができました。これって、大人になった時にも、精神を病まずに対処できる練習になっていると思います！

## 東京都 Dさん

1年生になった長女を可愛いと思えなくなっていました。下二人と長女との違いに困惑していました…

After untetsu

理由と対処と対策がわかり、少しずつ気持ちが変わっていくのを実感しました。長女と2人でお出かけしたり、楽しく過ごせるようになってきました。

## 静岡県 Eさん

4歳娘に少し待っていてほしくてテレビを見せようとしたのですが、こういう時に限って、「ママがいい！」と言われて、イライラするし、困っていました…

After untetsu

子どもに「おねがい」ではなく、「プレゼント」をする声かけを知り、実践したら、速攻で娘が動きました。

## 愛知県 Fさん

3歳の子のミルクをやめさせられず、夫もまだいいじゃん、と言うけれど、体重も増えてきたし、迷っていました…

After untetsu

運呼哲学子育て編を聞いた翌日から、子どもがミルクではなく「お水ちょーだい」と言い出し、断ミルクができました！

## 今回の関西講演会では、こんなことをお話しします！

前半：中高生向け：本番に強くなる脳みその使い方

後半：子育て講座

- ☐ 「言うこと聞かない子」への運哲的攻略法とは？
- ☐ おこづかいで金銭感覚を育てる新しいアプローチ
- ☐ 育児ストレスをラクにする“感情のデトックス法”
- ☐ 「他人の期待を生きる人生」から「本当の自分に戻る」ための考え方
- ☐ 自分の感情をコントロールできる子どもにする方法

不確実な時代に、自分の頭で考えられる子育てをしたい方は必見です。

お問い合わせ先：uniqueinfo.7@gmail.com / 090-1968-1254（事務局担当）

詳細&お申し込みはコチラ



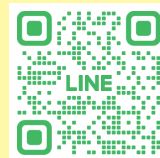
会場：京都テルサホール（定員 300 名）  
京都市南区東九条下殿田町 70  
12:30 開場（ロビー内マルシェは 11:00～）  
13:00 講演会開演  
16:30 閉演  
17:00 終了予定



講師  
青木  
ゆか

勇気に溢れたひとの顔がみたい

「深刻さが人生を迷走させる」と、マイナス感情を“うんこ”にたとえる「運呼哲学」を考案。  
もともとは、どこにでもいる「普通の専業主婦」。けれど、「誰かの力になりたい」と、  
子育てのかたわら1歳の娘を抱いて英語の先生として起業。自らの英語学習メソッドと経験を本にまとめ出版。  
『ずるいえいご』（日本経済新聞出版社）をはじめ、複数の書籍を出版し累計14万部突破のベストセラー作家に。  
憧れの経済誌や女性誌への掲載、海外進出も果たす。転機になったのはコロナ禍。  
clubhouseで連日の占い配信をきっかけに【感情のうんこを適切に処理すると運を呼ぶ】という  
「運呼哲学（うんこてつがく）」を産み出す。  
「他人の人生を生きると、宿便がたまる！」という笑って泣けてラクになる人生哲学。  
この哲学で、これまでにのべ3000人以上の女性たちが涙と笑いで救われている。



運呼哲学 公式 LINE